シラバス (授業概要)				年度	
時間数は45分換算				2024年度	
				科目コード	
				C-K02	
授業科目名			授業形態		学科・コース
コミュニケーション活動Ⅱ			実技・演習		コンピュータ科 プログラム・ビジネスコース
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	90	3	青木 伴暢/町野 教和/ 島田 幸紀
授業の目的・到達目標					
始業式、終業式、卒業式など各種行事、および球技大会や遠足などの体育活動などを実施する。修学旅行も周囲に配慮しながら集団行動することを学ぶ絶好の機会であり、授業では得られない学習効果が期待できる。コミュニケーション能力を向上させ、より良い人間関係を構築できるようになる。					
授業の概要					
各種行事（入学式・始業式・終業式・遠足・球技大会や展示会見学など）が科目として消化される。欠席しないことが大事である。					
成績評価の方法					
各行事への学習意欲で評価する。					学習意欲 100%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
			時間数		
始業式・終業式など			12		
展示会见学			8		
防災訓練			2		
秋の遠足			8		
スポーツフェスティバル			8		
修学旅行			40		
企業説明会・卒業式等			12		
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)				年度	
				2024年度	
				科目コード	
				C-K04	
授業科目名			授業形態		学科・コース
就職指導			演習		コンピュータ科 ビジネスコース
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	選択B 選択者必修	30	1	寺尾 寿樹
授業の目的・到達目標					
社会人にとって様々な年齢層や価値観の方と円滑に仕事をするために必須となる「ビジネスマナー」や「コミュニケーション」の取り方を知識だけでなくロールプレイングし、習得する。					
授業の概要					
「社会人としての心構えやルール」、「効率的な仕事の進め方」、「変化への機敏な対応」を学び、ビジネスで起こりうるミスや失敗などの事例を取り上げ、各場面の対応方法を身につけていく。 また「名刺交換」や「指示の受け方」など基本的なビジネスマナーをロールプレイングし体得する。					
成績評価の方法					
授業に取り組む姿勢や ロールプレイングの正確性・柔軟性を判定する。					期末試験 60% 学習意欲 40%
使用テキスト・教材					
社会人の教科書1年生 新星出版					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1 会社活動の基本			6		
2 コミュニケーションとビジネスマナー			4		
3 指示の受け方			2		
4 電話応対			4		
5 来客応対と訪問のマナー			2		
6 仕事への取り組み、進め方			2		
7 ビジネス文書とビジネスメール			4		
8 情報収集、新聞			4		
9 期末試験			2		
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)				年度	
				2024年度	
				科目コード	
				C-K04	
授業科目名			授業形態		学科・コース
就職指導			演習		コンピュータ科 プログラムコース
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	選択B 選択者必修	30	1	松川 麻美
授業の目的・到達目標					
社会人にとって様々な年齢層や価値観の方と円滑に仕事をするために必須となる「ビジネスマナー」や「コミュニケーション」の取り方を知識だけでなくロールプレイングし、習得する。					
授業の概要					
「社会人としての心構えやルール」、「効率的な仕事の進め方」、「変化への機敏な対応」を学び、ビジネスで起こりうるミスや失敗などの事例を取り上げ、各場面の対応方法を身につけていく。 また「名刺交換」や「指示の受け方」など基本的なビジネスマナーをロールプレイングし体得する。					
成績評価の方法					
授業に取り組む姿勢や ロールプレイングの正確性・柔軟性を判定する。					期末試験 60% 学習意欲 40%
使用テキスト・教材					
社会人の教科書1年生 新星出版					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1 会社活動の基本			6		
2 コミュニケーションとビジネスマナー			4		
3 指示の受け方			2		
4 電話応対			4		
5 来客応対と訪問のマナー			2		
6 仕事への取り組み、進め方			2		
7 ビジネス文書とビジネスメール			4		
8 情報収集、新聞			4		
9 期末試験			2		
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)				年度	
				2024年度	
				科目コード	
				C-K17	
授業科目名			授業形態		学科・コース
卒業研究			演習		コンピュータ科 プログラムコース
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必須	240	8	青木 伴暢 / 町野 教和 / 梅原 萌子 / 加藤 友規
授業の目的・到達目標					
これまでに学んだスキルを活かした作品制作、または授業で習得していないツールなどを使用し、独自に研究をすすめた作品制作など、コンピュータ科にて2年間学習してきた成果を発揮できるようになる。					
授業の概要					
2年間の学習成果をまとめるための総合的な研究を行う。各種開発ツールを駆使した、システム開発・マルチメディアソフト・ネットワーク対応ソフト、オフィス簡易プログラムを制作し、研究レポートにまとめ、作品発表会を行う。					
成績評価の方法					
作品、提出物、プレゼンテーションおよび学習意欲を総合評価する。					提出物 80% 学習意欲 20%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1.企画、要件定義、レビュー			20		
2.外部設計、内部設計、レビュー			20		
3.プログラム設計、プログラミング			120		
4.中間発表			10		
5.プログラムの修正			30		
6.各種ドキュメント作成			20		
7.リハーサル			10		
8.研究発表			10		
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)				年度	
				2024年度	
				科目コード	
				C-K17	
授業科目名			授業形態		学科・コース
卒業研究			演習		コンピュータ科 ビジネスコース
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必須	240	8	島田 幸紀/梅原 萌子
授業の目的・到達目標					
これまでに学んだスキルを活かした作品制作、または授業で習得していないツールなどを使用し、独自に研究をすすめた作品制作など、コンピュータ科にて2年間学習してきた成果を発揮できるようになる。					
授業の概要					
2年間の学習成果をまとめるための総合的な研究を行う。各種開発ツールを駆使した、システム開発・マルチメディアソフト・ネットワーク対応ソフト、オフィス簡易プログラムを制作し、研究レポートにまとめ、作品発表会を行う。					
成績評価の方法					
作品、提出物、プレゼンテーションおよび学習意欲を総合評価する。					提出物 80% 学習意欲 20%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1.企画、要件定義、レビュー			20		
2.外部設計、内部設計、レビュー			20		
3.プログラム設計、プログラミング			120		
4.中間発表			10		
5.プログラムの修正			30		
6.各種ドキュメント作成			20		
7.リハーサル			10		
8.研究発表			10		
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	C-K19
授業科目名		授業形態		学科・コース	
特別講義II		演習		コンピュータ科 プログラム・ビジネスコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	2	島田 幸紀/梅原 萌子
授業の目的・到達目標					
業務データを分析し、ビジネスの現状や課題を把握した上で、表やグラフを用いた的確な経営分析資料を作成する。チーム単位での演習を通して、ビジネス遂行に必要な「報告・連絡・相談」、「情報共有スキル」を習得することを目的とする。					
授業の概要					
株式会社 KIDA-LA の「売上・利益率・業務効率の向上につながる施策」や「経費削減につながる施策」について多くの資料から読み取り施策を考える。店舗別の売上と顧客単価の比較、曜日や時間帯、天気や気温による売上の比較、売上アップ、経費削減、業務効率のいずれかの視点で作成した資料と改善提案をまとめて、発表できるようにする。					
成績評価の方法					
結果および授業態度等を勘案して総合評価する。				資料制作	20%
				成果発表	70%
				学習意欲	10%
使用テキスト・教材					
情報分析演習 株式会社インフォテック・サーブ出版					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
Lesson1 : Excel の基本操作		4	Lesson9 : 資料作成演習①		6
Lesson2 : 表の作成			Lesson10 : データベース機能		
Lesson3 : 表の編集			Lesson11 : 便利な機能		
Lesson4 : 絶対参照			Lesson12 : Windows の基本		
Lesson5 : 関数の利用①		4	Lesson13 : 資料作成演習②		4
Lesson6 : 関数の利用②			Lesson14 : データ分析演習 課題作成		6
Lesson7 : グラフの作成		2	Lesson15 : 情報分析演習 発表・評価		4
Lesson8 : 印刷					
その他			関連科目		
企業連携授業					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	C-K22
授業科目名		授業形態		学科・コース	
プログラム言語II		演習		コンピュータ科 プログラムコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	選択A 選択者必修	90	6	坂本 登喜雄
授業の目的・到達目標					
Object 指向 (カプセル化、継承、ポリモフィズム) を利用したプログラミングができる。 クラス、インスタンス及びオブジェクトの作成とその利用ができる。 Windows アプリケーションを作成できる。					
授業の概要					
Java 言語は、Windows, Network, Web 及び Android アプリケーションの作成言語として、広く利用されている。Java 言語の基本知識を習得し、この言語によりアプリケーション開発技術を高める。					
成績評価の方法					
期末試験で評価を行います。					試験 100%
使用テキスト・教材					
Java 第3版 入門編 ゼロからはじめるプログラミング (翔泳社) Java 第3版 実践編 アプリケーション作りの基本 (翔泳社)					
授業内容・授業計画					
入門編	時間数				時間数
1. Java 言語に触れる。	3	3. スレッド			4
2. Java 言語の基本	3	4. ガーベッジコレクション			4
3. 条件分岐と繰り返し	4	5. コレクション			4
4. メソッド	4	6. ラムダ式			4
5. クラスの基本	4	7. 入出力			4
6. クラスの一步進んだ使い方	4	8. GUI アプリケーション			4
7. 継承	4	9. グラフィックスとマウスイベント			4
8. 抽象クラスとインターフェース	4	10. ネットワーク			4
実践編		11. 一步進んだ Java プログラミング			4
1. パッケージと JavaAPI	2	Windows アプリ作成			16
2. 例外処理	2	試験			4
その他	関連科目				

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	C-K23
授業科目名			授業形態	学科・コース	
プログラム言語Ⅲ			演習	コンピュータ科 プログラムコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	選択A 選択者必修	60	2	青木 伴暢 町野 教和
授業の目的・到達目標					
近年利用が増えているプログラム言語 Python によるプログラム開発の基本を学習する。 Python の基本を習得し、将来的に機械学習やデータ分析に応用できることを目的とする。					
授業の概要					
Python について、基本構文から、応用的な手法について学習する。 機械学習、AI 分野も触れていく。					
成績評価の方法					
演習課題及び学習意欲（出欠状況・授業態度）を総合評価したうえで決定する。					課題 80% 学習意欲 20%
使用テキスト・教材					
Web 教材を利用する					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. Python を使う準備			2	7. 入出力	6
2. Python インタープリタ			2	8. エラーと例外	4
3. データ型			4	9. クラス	6
4. 制御構造			6	10. 標準ライブラリ	8
5. データ構造			6	11. 応用及び演習	10
6. モジュール			6		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)				年度	2024年度	
時間数は45分換算				科目コード	C-K24	
授業科目名		授業形態		学科・コース		
プログラム言語IV		実習		コンピュータ科 プログラムコース		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	後期	必修	60	4	坂本 登喜雄	
授業の目的・到達目標						
個人で Android を用いたアプリ制作ができる。						
授業の概要						
Android を用いたアプリ制作を基本とする。教科書に沿って、各種のアプリプログラムを作成し、実機にて実行を確認する。						
成績評価の方法						
期末試験で評価を行う。					試験	100%
使用テキスト・教材						
Android アプリ開発の教科書 第2版 Java 対応 (株式会社翔泳社)						
授業内容・授業計画						
			時間数		時間数	
1.Android アプリの開発環境設定			2	11.非同期処理と Web API 連携	4	
2.初めての Android アプリ作成			2	12.メディア再生	2	
3.ビューとアクティビティ			4	13.バックグラウンド処理と通知機能	4	
4.イベントリスナー			4	14.地図アプリとの連携	4	
5.リストビューとダイアログ			4	15.カメラアプリとの連携	4	
6.ConstraintLayout			4	16.マテリアルデザイン	4	
7.画面遷移と intent クラス			4	17.リサイクラービュー	2	
8.オプションとコンテキストメニュー			4	試験	2	
9.フラグメント			2			
10.データベースアクセス			4			
その他			関連科目			

シラバス (授業概要)				年度	
				2024年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				C-K25	
授業科目名			授業形態		学科・コース
ビジネスアプリケーション			演習		コンピューター科 プログラムコース
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	選択	90	3	伊藤 崇洋
授業の目的・到達目標					
Web アプリケーション開発の原理と理屈の理解 基本的な PHP による動的ページ作成の習得 チーム開発の基礎の習得					
授業の概要					
Web アプリケーションに求められる社会背景から、実際に開発業務で求められる基礎知識を原理や理屈から学びます。対象とする範囲は Web サーバー、データベース、静的ページとしての HTML、動的ページの言語としての PHP とします。それぞれの基礎の学習と応用を繰り返して進めていきます。					
成績評価の方法					
Web アプリケーション開発の原理と理屈の理解度を小テストなどにより評価 基本的な PHP による動的ページ作成の習熟度を課題の成果を客観視評価 チーム開発の基礎の習得や協調性などを観察により評価				期末試験	20%
				課題	50%
				学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
講師作成によるテキスト					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	ガイダンス	3	11.	チーム開発とプロジェクト管理	6
2.	Web ソリューションと社会背景	3	12.	プロジェクト管理とツール	6
3.	システム開発と V 字モデル	6	13.	設計実習	6
4.	システム要件と機能と非機能	6	14.	開発実習	6
5.	システム要件と Web アプリケーション	6	15.	試験実習	6
		6	16.	最終発表	6
6.	システム要件と設計	6			
7.	品質評価と試験	6			
8.	試験とパターン	6			
9.	静的ページと動的ページ	6			
10.	フロントエンドとサーバーサイド	6			
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)				年度	
				2024 年度	
				科目コード	
				C-K29	
授業科目名			授業形態		学科・コース
資格取得講座Ⅱ			講義		コンピュータ科 プログラムコース
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	2	坂本 登喜雄
授業の目的・到達目標					
Oracle Java Silver 試験の合格を目指す。 Oracle Java Silver 試験合格のために Java Silver 問題集を解けるようになる。					
授業の概要					
JAVA Silver 問題集を実施する					
成績評価の方法					
Oracle の JAVA Silver 試験と期末試験より年間評価を行う。					試験 100%
使用テキスト・教材					
JAVA Silver 問題集					
授業内容・授業計画					
JAVA Silver 問題集を実施する。			時間数	時間数	
1 Java プログラミングの基礎			2		
2 変数と配列			4		
3. 演算子			4		
4. 繰り返し文			4		
5 クラス定義とオブジェクトの生成と使用			4		
6. 継承とポリモフィズム			4		
7. 例外処理			4		
8. モジュールシステム			2		
試験			2		
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)				年度	
				2024年度	
				科目コード	
				C-K30	
授業科目名			授業形態		学科・コース
工事担任者試験			講義		コンピュータ科 プログラムコース
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	選択A 選択者必修	60	4	高木 健至
授業の目的・到達目標					
工事担任者試験第2級デジタルの取得を目標とする。 工事担任者試験第2級デジタルの取得のために必要な知識を習得し、工事担任者実戦問題集を解けるようになる。					
授業の概要					
通信技術の基礎となる電気電子、実践的な通信技術を学び、必要となる法規について、問題演習中心に学習する。					
成績評価の方法					
確認試験はテーマごとに行い、この結果と学習意欲を勘案して総合評価する。					確認試験 70% 学習意欲 30%
使用テキスト・教材					
工事担任者第2級デジタル実戦問題集 (リックテレコム)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 電気通信技術の基礎			3. 端末設備の接続に関する法規		
1-1. 電気回路, 電子回路		10	3-1. 電気通信事業法		4
1-2. 論理回路		4	3-2. 工担者規則, 認定等規則, 有線 法, 設備令, 不正アクセス禁止法		4
1-3. 伝送理論		6	3-3. 端末設備等規則		4
1-4. 伝送技術		8			
2. 端末設備の接続のための技術及び理論					
2-1. 端末設備の技術		10			
2-2. ネットワークの技術		6			
2-3. 情報セキュリティの技術		2			
2-4. 接続工事の技術		2			
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	C-K31
授業科目名			授業形態		学科・コース
データベース応用			演習		コンピュータ科 プログラムコース
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	選択A 選択者必修	60	2	長谷川 和明
授業の目的・到達目標					
データベースソフトウェアを使用してデータベースを構築することができる。 データベースソフトウェア上でSQLを使用し、データ操作をすることができる。					
授業の概要					
業務で取り扱われているデータベースソフトウェアを、実際にインストール、データベースの構築を通して、SQLを中心に学習を行う。					
成績評価の方法					
試験結果および課題提出、授業態度等を勘案して総合評価する。					期末試験 45% 課題 45% 学習意欲 10%
使用テキスト・教材					
基本がわかるSQL入門(技術評論社)を利用する					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	SQLの基本ルール		2		
2.	集合演算子・式と関数		4		
3.	集計とグループ化		4		
4.	副問い合わせ		4		
5.	テーブルの結合		6		
6.	トランザクション		6		
7.	外部キーと参照整合性		6		
8.	データベースをより安全に使う		6		
9.	概念設計・論理設計・物理設計		6		
10.	正規化の手順		6		
11.	データベース構築演習		10		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	C-K33
授業科目名		授業形態		学科・コース	
システムアーキテクト演習		演習		コンピュータ科 プログラムコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	選択A 選択者必修	60	2	富張 一郎
授業の目的・到達目標					
大規模化かつ高度化している情報システムは、開発を効率的に行うに当たり、オブジェクト指向の考え方が重要となっている。その結果、オブジェクト指向に即した表記法 UML は、開発現場での意思疎通に有効となってきている。この講座では、システム開発の分析・設計工程に対し、UML を活用した演習および講義を行い、UML の有効性認識・基本文法の習得を目指す。					
授業の概要					
UML の主要ダイアグラム (ユースケース図、アクティビティ図、オブジェクト図、クラス図、シーケンス図、コミュニケーション図、ステートマシン図) を主に、講義および演習を行う。演習はチーム活動で行い、設定したテーマのシステム開発 (分析・設計の工程) 作業を、UML を活用して進める。なお、ツールとして astah* を使用する。					
成績評価の方法					
期末試験の結果および学習意欲をもとに、総合的に評価する。 学習意欲は、随時行う小テストで、基本事項を理解しているか評価する。				期末試験	70%
				学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
「ゼロからわかる UML 超入門 [改訂2版]」技術評論社 ISBN : 978-4774190051					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. オリエンテーション ツールのインストール、試用、など		3	4. オブジェクト指向 ・継承		4
2. 要求工程 ・ ユースケース図 (含. ユースケース記述)		8	・多態性, 抽象クラス, インタフェース		4
・アクティビティ図		6	5. 複合オブジェクト、関連、汎化、 集約		4
3. 分析・設計工程 ・オブジェクト図、クラス図		8	6. その他の図		2
・相互作用図		7	7. テスト (含. 小テスト)		2
- シーケンス図			8. UML の概要		4
- コミュニケーション図			9. モデリング, オブジェクト指向の概要		4
・ステートマシン図		4	(注) ・8および9は、適宜実施		
その他		関連科目			

シラバス (授業概要)				年度		
				2024 年度		
				科目コード		
				C-K34		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
サーバ構築演習			演習		コンピュータ科 プログラムコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	選択A 選択者必修	60	2	町野 教和	
授業の目的・到達目標						
各種サーバの役割を理解し、Linux サーバを構築することができる。 コマンドラインインタフェース (CLI) を用いて Linux サーバを操作することができる。						
授業の概要						
ノートパソコンで仮想化環境を設定し、LinuxOS を構築する。OS としてのサーバを構築することから始め、Web サーバ・DB サーバ・DNS サーバなどの各種サーバアプリケーションを構築する。サーバ構築に必要な各種設定を行いながら、Linux コマンドライン操作を学習する。						
成績評価の方法						
実習課題の提出結果および授業態度等を含めて、期末試験とで総合評価する。					期末試験 50%	
					課題 40%	
					学習意欲 10%	
使用テキスト・教材						
テキスト：いちばんやさしい新しいサーバーの教本 自己所有ノートパソコン、 @sangi.jp クラスルーム						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 仮想化環境の構築			4	13. DHCP サーバの構築		4
2. Linux の導入、基本操作			4	14. Web アプリケーション構築		6
3. コマンドライン基礎			4			
4. ユーザ管理・サービス管理			4			
5. リモート管理			4			
6. ファイル共有サーバの構築			4			
7. Web サーバの構築			4			
8. DB サーバの利用			4			
9. セキュリティ設定			4			
10. コマンドライン応用・シェル			6			
11. DNS サーバの構築			4			
12. メールサーバの構築			4			
その他				関連科目		
・自己所有ノートパソコンの空き容量確認 ・@sangi.jp 個人アカウント利用						

シラバス (授業概要)				年度			
				2024年度			
				科目コード			
				C-K36			
授業科目名			授業形態		学科・コース		
コミュニケーションスキル			講義・演習		コンピュータ科 ビジネスコース		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	後期	選択B 選択者必修	30	1	武友 久美		
授業の目的・到達目標							
基本的なビジネススキルを学び、社会人一年目に良いスタートを切るための準備を行なう。実践の場と、実践に対する改善のフィードバックを繰り返すことで働く自分を具体的にイメージしてもらおう。							
授業の概要							
電話応対、立ち振る舞い、交渉、プレゼンなどを学ぶ。実際に営業で活躍されている方からコミュニケーションのテクニックや商材や商品が売れていく仕組みをレクチャーしてもらおう。プレゼンテーションの資料をつくり、資料を使って実演を行なう。							
成績評価の方法							
<ul style="list-style-type: none"> ・元気な挨拶、はきはきとした対応、感謝の言葉、相手を思いやるコミュニケーションを取ろうと努力しているか ・授業内での学びや気づきを毎回レポートにまとめる ・プレゼンテーションの内容と質 ・授業内での積極性または参加姿勢 					参加姿勢 50% レポート内容 25% プレゼン内容 25%		
使用テキスト・教材							
なし							
授業内容・授業計画							
1、楽しく働くために必要なもの			時間数	4	5、想いが伝わる効果的なプレゼンテーション	時間数	4
2、第一印象の大切さ、声で好感度をつくる				4	6、プレゼンテーションをつくろう		8
3、アクティブリスニングと相手を思いやるコミュニケーション				4	7、伝える力		2
4、ビジネスマンに学ぶ「商談術」と体験ワーク				4			
その他				関連科目			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	C-K39
授業科目名		授業形態		学科・コース	
Office アプリケーション活用II		演習		コンピュータ科 ビジネスコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	選択B 選択者必修	120	4	島田 幸紀
授業の目的・到達目標					
データベースソフト (Microsoft Access) の習得と Microsoft Office Specialist Access 2019 Expert の資格取得を目指す。データベース管理ができるようになる。					
授業の概要					
データベースの基本からフォーム・クエリの活用、データベースの設計やマクロについても学習していく。					
成績評価の方法					
模擬試験結果、検定試験結果、学習意欲を勘案し総合評価する。				検定試験	70%
				模擬試験	20%
				学習意欲	10%
使用テキスト・教材					
今すぐ使えるかんたんシリーズ 今すぐ使えるかんたん Access (技術評論社) Microsoft Office Specialist Access 365&2019 Expert 対策テキスト& 問題集 (FOM 出版)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. Access を始めよう		1	Microsoft Office Specialist Access 2019		
2. データを入力するテーブルを作成しよう		2	Expert 対策		
3. クエリで目的のデータを抽出しよう		4	1.データベースの作成と管理	8	
4. フォームでデータの入出力をしよう		6	2.テーブルの作成	10	
5. データをレポートにまとめて印刷しよう		4	3.クエリの作成	10	
6. リレーショナルデータベースを作ろう		5	4.フォームの作成	10	
7. 複数テーブルからデータを抽出するクエリを作成しよう		6	5.レポートの作成	8	
8. メイン/サブフォームを作成しよう		5	6.確認問題	10	
9. グループ集計レポートとメイン/サブレポートを作成しよう		4	7.模擬試験	20	
10. メニュー画面を作成しよう		5	8.検定試験	2	
その他		関連科目			

シラバス (授業概要)			時間数は45分換算			年度	2024年度
						科目コード	C-K40
授業科目名			授業形態		学科・コース		
アプリケーション応用			演習		コンピュータ科 ビジネスコース		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	後期	選択B 選択者必修	60	2	島田 幸紀		
授業の目的・到達目標							
<p>社会で使われている WORD、EXCEL がビジネスシーンでどのように使用されているかを理解する。WORD では複数ページの印刷物を作成ができ、EXCEL では勤務表、見積書などが作成できるようになる。またソフトなどの使用方法をインストラクションすることができる。</p>							
授業の概要							
<p>1年次の継続授業。1年次に学習した WORD、EXCEL の機能が実務でどのように使われているかを確認しながら復習する。インストラクションの単位では、自らテキストを作成し、クラスメイトを受講生と見立てて授業を行う。</p>							
成績評価の方法							
分野ごとにテストを行う。インストラクションのマニュアル作成、指導姿勢、学習意欲などを勘案する。					期末試験	40%	
					課題	40%	
					学習意欲	20%	
使用テキスト・教材							
よくわかる Word2019&Excel2019 スキルアップ問題集 ビジネス実践編 (FOM 出版)							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. プロジェクト発足を通知する			4	11. 練習問題			10
2. 会議の開催を連絡する			4				
3. 行動指針を全従業員に告知する			4				
4. セミナー開催をお客様に案内する			4				
5. セミナー申込者に受講票を送付する			6				
6. Webサイトへのアクセス数を集計・分析する			4				
7. 社内研修結果を管理する			4				
8. イベント売上実績を集計・分析する			8				
9. セミナー開催状況を管理する			6				
10. 売上見込み・売上実績を集計する			6				
その他				関連科目			
				C-K38_ Office アプリケーション活用 I			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	C-K41
授業科目名		授業形態		学科・コース	
VBA入門		講義・演習		コンピュータ科 ビジネスコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	選択B 選択者必修	60	2	島田 幸紀
授業の目的・到達目標					
即戦力としてExcelを使いこなす事が出来るようExcelVBAを使用し、簡易プログラムやマクロについての知識や技術を身に付ける。定型業務などで簡単なプログラムを組むことで、仕事の効率化を図ることが出来るようになる。					
授業の概要					
最初に、手順を記録して作成する「マクロの記録」機能を習得する。マクロとExcelVBAを使い分けて、効率の良いプログラム作成が出来るような力を養う。例題を解いた後、演習を行う。繰り返し演習を行うことにより、プログラムの意味を理解することが出来るようになる。					
成績評価の方法					
課題提出、期末試験、学習意欲を勘案して総合評価とする。				期末試験	60%
				課題	30%
				学習意欲	10%
使用テキスト・教材					
Excel VBA 塾 (マイナビ) Excel VBA 脱初心者のための集中講座 (マイナビ)					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1章	マクロとは？何が便利？		1	11章	シートの操作
2章	マクロ記録とVBA		3	12章	ブックの操作
3章	プロシージャ		4	最終章	実用マクロを作ろう！
4章	セルやセル範囲を操作する		5	総合演習	
5章	演算と変数		6		6
6章	繰り返し		6		
7章	最終行の取得		3		
8章	条件分岐		6		
9章	VBA関数		8		
10章	フィルターによるデータ抽出		5		
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	C-K42
授業科目名		授業形態		学科・コース	
クラウドアプリ入門		講義		コンピュータ科 ビジネスコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	選択B 必修	30	1	青木伴暢
授業の目的・到達目標					
インターネットを利用したサービスの多くが、クラウドコンピューティングによって実現されている。クラウドとは何か、クラウドの利用方法、クラウドを使った様々なアプリケーションを理解することで、IT技術のインフラとしてのクラウドサービスを利用できるようになる。					
授業の概要					
代表的なクラウドサービスである「Google Workspace」の利用を中心として、その中で提供されているサービスメニューを利用し理解していく。ノートパソコンと学校メールアドレスのアカウントを利用することでこのサービスを利用できる。実習形式で行い、最終課題として成果を発表する。					
成績評価の方法					
成果発表の内容、学習意欲を勘案して総合評価する。					課題 80% 学習意欲 20%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.クラウドとは/Google Apps とは		2	4.(3)Google Docs		4
2.Google Apps を使ってみる		4	(スプレッドシート、スライド) アンケート結果の集計/発表資料作成		
(1)Google Drive/Google Docs (ドキュメント)			5.(4)Google Calendar (予定表)		4
簡単な文章の作成と保存			WBS を作成してみる。		
3.(2)Google Form (アンケート)		4	6.(5)Google Site (ホームページ)		4
アンケートの作成と企画の作成			職種図鑑の作成		
企画の発表とアンケートの実施			7.Google スライドを使ってみる		4
			8.課題・成果発表		4
その他			関連科目		
各自ノートパソコンとインターネット接続が必要					

シラバス (授業概要)				年度	
				2024年度	
				科目コード	
				C-K43	
授業科目名			授業形態		学科・コース
最新IT技術入門			講義・演習		コンピュータ科 ビジネスコース
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	選択B 選択者必修	30	2	町野 教和
授業の目的・到達目標					
RPAの基本的な知識、具体的な活用シーンをイメージできるようになる。 UiPathを活用して業務効率化ツールを作成できるようになる。					
授業の概要					
RPAを活用することで、仕事の効率化を行うことができる。 RPAとは何か、どのような利用シーンがあるか、どう効率化できるかを考えるとともに、ツールの利用方法を学ぶ。					
成績評価の方法					
授業内で作成したツールの提出と演習課題の提出結果、授業態度を勘案して総合評価する。					課題 80% 学習意欲 20%
使用テキスト・教材					
できる UiPath Studio X はじめての業務 RPA					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. RPAってどういうこと?			2		
2. UiPath StudioXを始めよう			4		
3. UiPath StudioXの基本を学ぼう			4		
4. テンプレートを活用しよう			4		
5. テンプレートを応用しよう			4		
6. いちからプロジェクトを作ってみよう			4		
7. StudioXをさらに活用するには 課題演習			8		
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)				年度		
				2024年度		
				科目コード		
				C-K46		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
カラーコーディネイトII			講義・演習		コンピュータ科 ビジネスコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	選択	30	1	小長谷 由紀子	
授業の目的・到達目標						
年次に学習した色の基礎知識を基にCUD（カラーユニバーサルデザイン）を学びます。色覚の多様性に配慮した誰もが見やすい色使いを習得した証としてNPO カラーユニバーサルデザイン機構が主催するCUD検定3級を受験。CUDを活かしたチラシやPowerPointが作成できるようにします。						
授業の概要						
上述のテーマ・目標に沿って下記の通り細目を設けます。それぞれの回を講義した後はレポートやディスカッション等で習得率を確認。CUD検定取得後はシミュレーションツールを使ってCUDを取り入れたチラシやPowerPointを制作課題とします。						
成績評価の方法						
検定取得、課題、出欠状況、授業態度等を総合評価したうえで決定します。					期末試験 80% 学習意欲 20%	
使用テキスト・教材						
色彩活用ライフケアカラー検定3級テキスト 配色カード、のり、はさみ、パソコン						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. CUD(カラーユニバーサルデザイン)とSDGs			2	8. CUD 検定3級受験		2
2. 色覚について			2	9. CUD 検定3級受験		2
3. カラーユニバーサルデザインの基本			2	10. チラシ制作		2
4. 色覚シミュレーションツールの活用法			2	11. チラシ制作		2
5. 色覚の遺伝と進化			2	12. PowerPoint制作		2
6. 色覚検査の種類			2	13. PowerPoint制作		2
7. CUDの基本			2	14. 発表		2
				15. まとめ		2
その他				関連科目		

シラバス (授業概要)				年度		
				2024年度		
				科目コード		
				C-K47		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
英会話			演習		コンピュータ科 ビジネスコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	選択B 選択者必修	30	2	Andrew Swift	
授業の目的・到達目標						
修学旅行に必要な基本的な英会話を学習し、簡単な会話ができるようになる。						
授業の概要						
テキストに沿って、学習する。 CDからのヒアリングによって、問題を解き、答え合わせをする。 WORKBOOKをやり、残った分は宿題とする。						
成績評価の方法						
WORKBOOKの宿題、最後の授業内での英会話テスト結果を総合評価する。					会話試験 50% 宿題 50%	
使用テキスト・教材						
In Company Elementary Student's Book CEF Level A1-A2 Macmillan						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 自己紹介			2	12. Carry-on travel		2
2. Who are you?			2	13. The weather		2
3. I'm on the train			2	14. Car hire		2
4. Eating out			2	15. 会話レッスン (試験)		2
5. Case study discussion			2			
6. The conference			2			
7. Can you or can't you?			2			
8. Franchises			2			
9. Hotels			2			
10. Case study discussion: Incentives			2			
11. A good day?			2			
その他				関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2024年度
				科目コード	C-K49
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ファイナンシャルプランニング		講義		コンピュータ科 ビジネスコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	選択B 選択者必修	90	6	河内 嘉美
授業の目的・到達目標					
社会人として必要な知識である、年金、保険、金融、所得税、不動産、相続の学習をする。FP3級（実技）合格を目指す。老齢基礎年金受給額、建ぺい率・容積率、相続税額の計算ができるようになる。					
授業の概要					
1年次からの継続授業。FP3級（学科）の合格を前提に、実技試験の対策を行う。1年次に学習した内容を復習し、過去問題を解説する。年金、民間保険、所得税などの実務に即した考え方を理解する。過去問題を繰り返し解くことで、実技合格を目指す。					
成績評価の方法					
小テスト、期末テストを行い、学習意欲と授業態度を勘案する。				期末試験	50%
				小テスト	20%
				学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
みんなが欲しかった教科書3級（21・22年版）TAC出版					
みんなが欲しかった問題集3級（21・22年版）TAC出版					
授業内容・授業計画					
第1章ライフプランニングと資金計画		時間数	第5章不動産		時間数
老齢基礎年金受給額の計算		10	建ぺい率、容積率の計算		10
老齢基礎年金の繰り上げ・繰り下げ受給			登記簿の見方		
第2章リスク管理		10	固定資産税の計算		
確定拠出年金			第6章相続・事業継承		10
保険証の見方			贈与税基礎控除		
第3章金融資産運用		10	贈与税の特例		
株式の指標（PER・PBRなど）の計算			相続税課税標準		
債券利回り計算			相続税額の計算		
第4章タックスプランニング		10	計算ドリル		4
確定申告のルール、人的控除、物的控除			過去問対策		26
給与所得、退職所得、一次所得の計算					
その他			関連科目		
			C-K48_商業・会計		

シラバス (授業概要)				年度	
				2024 年度	
				科目コード	
				C-K51	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
資格取得講座Ⅱ		演習		コンピュータ科 ビジネスコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	選択B 選択者必修	90	3	松川 麻美
授業の目的・到達目標					
PowerPoint の操作及び実習を通して理解を深め、MOS 合格を目指す。PowerPoint を使用したプレゼンテーション作成技術を身に付けることができる。					
授業の概要					
1 年次に学習した操作を復習しながら、より効果的な資料作成とプレゼンテクニックを習得する。資格対策では出題傾向について理解を進め、それぞれの問題での理解度をチェックしていく。テキストに付属している模擬問題を繰り返し学習し、制限時間内に検定合格ラインに到達できる理解と力を深める。					
成績評価の方法					
課題提出、模擬試験結果、検定結果および学習意欲を勘案して総合評価する。				課題模擬	30%
				検定試験	60%
				学習意欲	10%
使用テキスト・教材					
よくわかるマスターMOS PowerPoint 365&2019 対策テキスト&問題集 (FOM 出版) 30 時間でマスタープレゼンテーション+PowerPoint2019 (実教出版)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.PowerPoint を使用した資料の作成		2	MOS PowerPoint 2019 対策		
2.プレゼンテーション資料をブラッシュアップ		4	1.プレゼンテーションの作成と管理		4
3.グラフや図形の挿入		2	2.テキスト、図形、画像の挿入と書式		4
4. アニメーション・リハーサル・プレゼンテーション本番での操作		4	3.表、グラフ、SmartArt、メディアの挿入		6
5.課題作成		8	4.画面切り替え、アニメーションの適用		6
			5.複数のプレゼンテーションの管理		6
			6.確認問題		8
			7.模擬試験		32
			8.検定試験		4
その他		関連科目			

シラバス (授業概要)				年度		
				2024年度		
時間数は45分換算				科目コード		
				C-K51		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
資格取得講座Ⅱ			講義・演習		コンピュータ科 ビジネスコース	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	後期	選択	90	3	内野 千珠子	
授業の目的・到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・ Well-being を理解し、Well-being を自分で整えられる方法を知り、日常で実践できる。 ・ 社会に出る為の準備として、自分の感情を整える方法を知り、自分を大切にしながら他者及び社会に貢献するための考え方や行動が身に付くようになる。 						
授業の概要						
<ul style="list-style-type: none"> ・ Well-being を自分で整えられることが人生を豊かにし、組織・社会により貢献できることへの理解と、実生活に取り入れる方法を学び実践する。 ・ 社会に出る際に身につけておきたい自分の心を整える方法、アサーションスキル、ストレスマネジメント、レジリエンススキルなどを知り、活用できるように理解を深める。 						
成績評価の方法						
期末試験の結果、学習意欲（授業態度・授業後レポート）を総合評価したうえで決定する。 学習意欲を測る授業態度においては、授業中の演習への取り組み・グループでの協働学習における態度が重要である。					期末試験 60% 学習意欲 40%	
使用テキスト・教材						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「幸福の達人」（ユーキャン自由国民社） ・ ワークシート（自作他） 						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. ウェルビーイングとは			2	5. コミュニケーションスキルの習得		2
2. 幸せと関連する4つの因子			1	6. ストレスマネジメントとレジリエンス		2
3. 科学的に自分を幸せにする行動				7. 期末試験		2
3-1 脳の特徴			1	8. 期末試験解答の確認と解説		1
3-2 脳の癖を攻略する			2	9. まとめ		1
3-3 ポジティブな面に注目する			2			
3-4 利他の心を持つ			2			
3-5 人間関係に投資する			2			
3-6 健康を死守する			2			
3-7 自尊心を育てる			2			
3-8 その他の幸せを高める行動習慣			2			
4. セルフコンパッション			4			
その他				関連科目		
				資格取得講座Ⅰ		